

1. 保証書の内容のご確認と保存のお願い

必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間

3. 修理をお申しつけされるとき

《保証期間中》

製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。

《保証期間を経過しているとき》

修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。

4. 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後 6年間

※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。「技術料」は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。「部品代」は、修理に使用した部品および補助材料代です。「出張料」は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■お客様ご自身での修理、分解や改造は絶対にしないでください。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品ご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。

ご転居やご贈答などでお困りの場合、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。

所在地、電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター



0570-011874

ナビダイヤル 市内通話料金でご利用いただけます

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日（祝日、弊社休業日を除く）

●携帯電話・PHS・IP電話など（ナビダイヤルが利用できない電話）

でのお問い合わせ Tel (06)6356-2451

●ファクシミリでのお問い合わせ Fax (06)6356-6143

製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・Fax番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

ホームページのご案内

消耗品・部品のご購入専用ページ <http://www.zojirushi-fresco.com/>

愛情点検

長年ご使用の食器洗い乾燥機の点検を！



こ
あ
り
な
ま
せ
ん
は
か

- 電源コード、差込みプラグが異常に熱くなる
- 水もれがする
- 焦げくさいにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がする
- 食器洗い乾燥機にさわるとビリビリ電気を感じる
- 据えつけが傾いたりグラグラしている
- その他の異常や故障がある

ご
使
用
中
止

こんな症状のときは、故障や事故の防止のため、スイッチを切り、コンセントから差込みプラグを抜いて、必ず販売店に点検（有料）をご相談ください。

象印マホービン株式会社

〒530-8511 大阪市北区天満1丁目20番5号 TEL.(06)6356-2391

BW-GC40 型 © B

ZOJIRUSHI

食器洗い乾燥機

ミニでか 食洗機

型名 **BW-GC40 型**

取扱説明書



このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございました。「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保存してください。

保証書別添付

もくじ

ご使用前に

安全上のご注意	2
各部のなまえ	4
操作パネルのなまえとはたらき	6
運転前の準備	8
●専用洗剤以外の洗剤を入れた場合の処置方法（泡かみの解消法）	9

使い方

ドアの開閉のしかた・かごの取りはずし方	10
コップかご・小物入れの着脱方法	11
基本的な食器の入れ方	12
いろいろな食器の入れ方	13
悪い入れ方	15
入れてはいけないもの	16
運転する	18
運転時間の目やす	21
運転終了後/お手入れ	22

困ったときは


故障かなと思ったとき	29
こんなときは故障ではありません	29
こんな表示が出たときは	30
凍結・断水・停電・ブレーカーが動作したときは	31
仕様/別売品	31
アフターサービス/お客様ご相談窓口	裏表紙

設置について

据えつけ方	24
-------	----


安全上のご注意 必ずお守りください

- ここに表した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。




警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷※¹を負うことが、想定される内容を表します。




注意

取り扱いを誤った場合、傷害※²または物的損害※³の発生が、想定される内容を表します。




注意

△記号は、警告、注意を促す内容があることを告げるものです。具体的な注意内容は図の中や近くに文章や絵で表します。



禁止

⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。具体的な禁止内容は図の中や近くに文章や絵で表します。




指示

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。具体的な指示内容は図の中や近くに文章や絵で表します。


- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。
- お買い上げの製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。

警告




分解禁止

改造はしない。また修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。




水ぬれ禁止

水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電の恐れがあります。




禁止

火のついたローソク、蚊取り線香、煙草などの火気や、揮発性の引火物を近づけない
変形や火災の恐れがあります。




接触禁止

運転中または、運転終了後30分間は絶対に庫内やヒーターカバーに触れない
やけどをする恐れがあります。




禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
やけど・感電・けがをする恐れがあります。




禁止

交流100V以外では使用しない
火災・感電・故障の原因になります。




禁止

電源コードや差込みプラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。




禁止

運転中は本体に衝撃を与えない
感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります。




禁止

電源コードを傷つけない
無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。




アースを確実に取りつける

故障中や漏電のときに感電する恐れがあります。
アースの取りつけは、販売店にご相談ください。




必ず実施

差込みプラグは、刃（プラグの先端）および刃の取付面にほこりが付着している場合はよくふく
火災の原因になります。




必ず実施

定格15A以上のコンセントを単独で使う
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。




必ず実施

子供が中へ入らないように注意する
また使用後は必ずドアを閉める
中からドアは開きません。



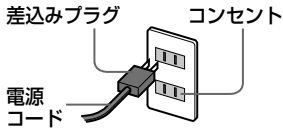
必ず実施

食器の取り出し、残さいフィルターの掃除、お手入れは運転終了後30分以上経過してから行う
やけどをする恐れがあります。



必ず実施

お手入れの際は必ず差込みプラグをコンセントから抜く
感電やけがをすることがあります。



警告



動かなくなったり、異常がある場合は、事故防止のためすぐに差込みプラグを抜いて、販売店に必ず点検・修理を依頼する

感電や漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。

注意



蒸気口付近には近づかない
湯気、温風によりやけどをすることがあります。



長期間で使用にならないときは、必ず差込みプラグをコンセントから抜く
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



運転中は、ドアを開けない
高温の湯気が出てやけどをすることがあります。洗浄水が高温になっており、手を触れるとやけどをします。



差込みプラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜く
感電やショートして発火することがあります。



開いたドアを強く押さない
転倒・落下により、けがをすることがあります。

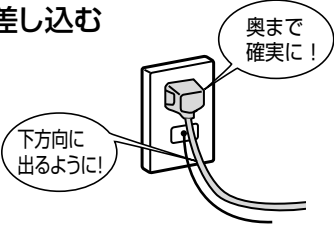


ドアを閉めるとき、指のはさみ込みに注意する
けがの恐れがあります。

お願い

差込みプラグは、コードが下方向に出るよう、コンセントに奥まで確実に差し込む

上方向に出すと、プラグの接触が不安定になり、異常発熱して発火の恐れがあります。



差込みプラグは根元まで確実に差し込む
感電・ショート・発火の原因になります。

本機は家庭用のため、業務用には使用しない

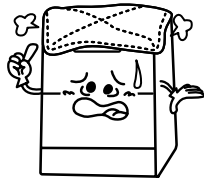
本体はしっかりとした水平な面に据えつける
正常な運転ができない恐れがあります。

ぬれた手で差込みプラグを抜き差ししない
感電やけがをすることがあります。

子供など取り扱いに不慣れな方には使わせない
やけど・けがをする恐れがあります。

煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、事故防止のためすぐに差込みプラグを抜く
事故の恐れがあります。

蒸気口にふきんなどをかけない
本体やドアの変形、変色または乾燥具合が悪くなる可能性があります。



食器洗い乾燥機専用洗剤以外の洗剤は絶対に使用しない
一般の台所用洗剤を使用すると、泡が大量に発生し、ドア部や底部から流れ出します。また、故障の原因になります。

給気口をふさがない 故障の原因になります。

他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しない
蒸気により、電気機器の火災、故障、変色、変形の原因になります。

ガスコンロなどの熱源からは15cm以上離す
火災や変形の恐れがあります。

天面にものを置かない
水や熱湯の入った容器・熱器具・電気製品・ガラス類・可燃物などは、特に置かないでください。けがや漏電・火災の原因になります。

排水（高温水）に手を触れない
やけどをする恐れがあります。

給水ホースのナットはしっかり締めつける
水もれの原因になります。

残さいフィルターを必ず取りつけて使用する
本体内に異物が入り、故障の原因になります。

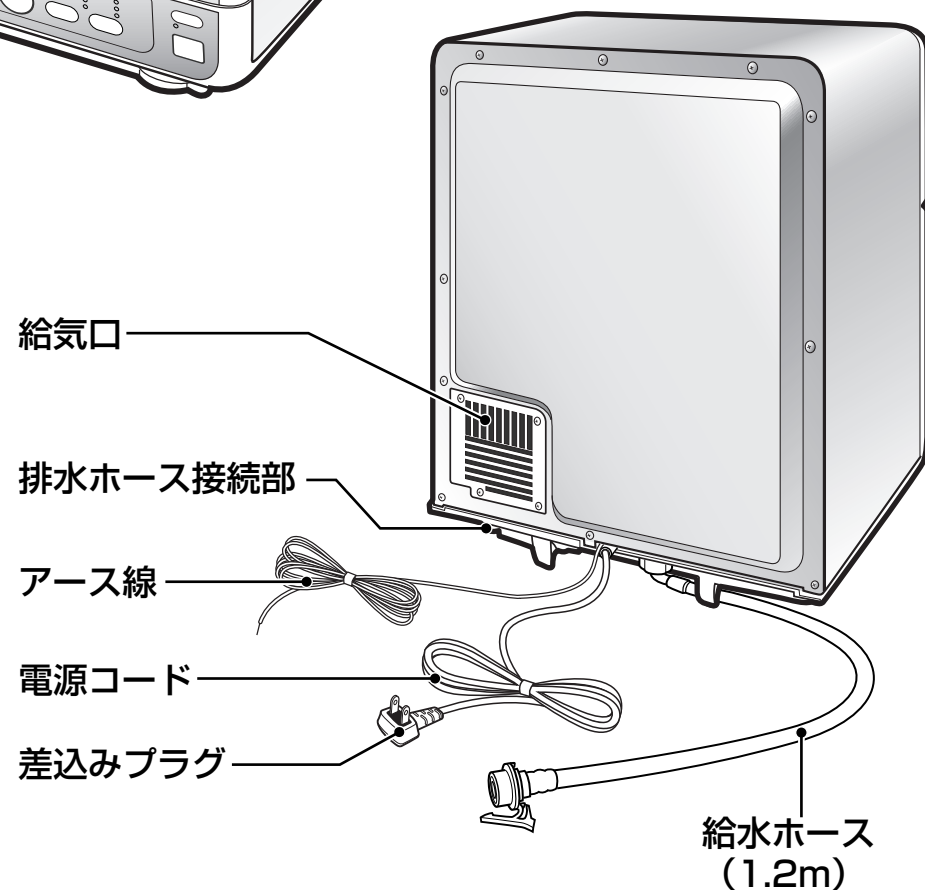
各部のなまえ

前面



●据えつけ方は24～28ページを
ご覧ください。

背面



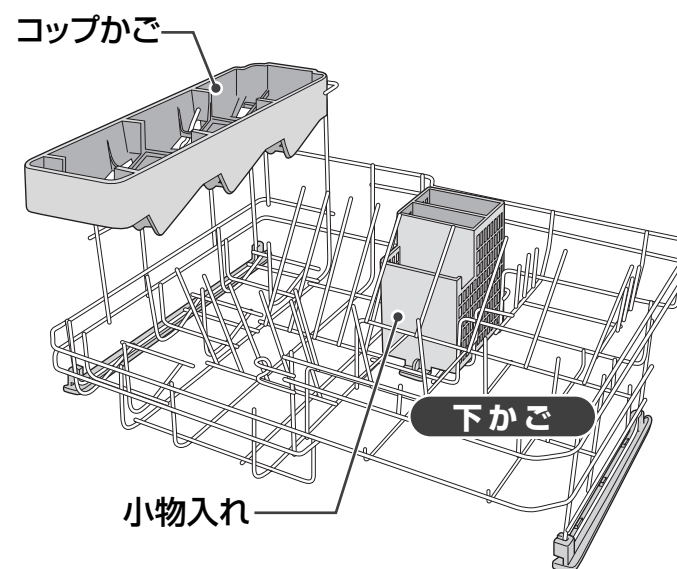
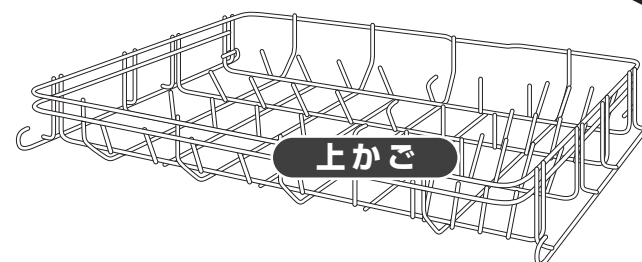
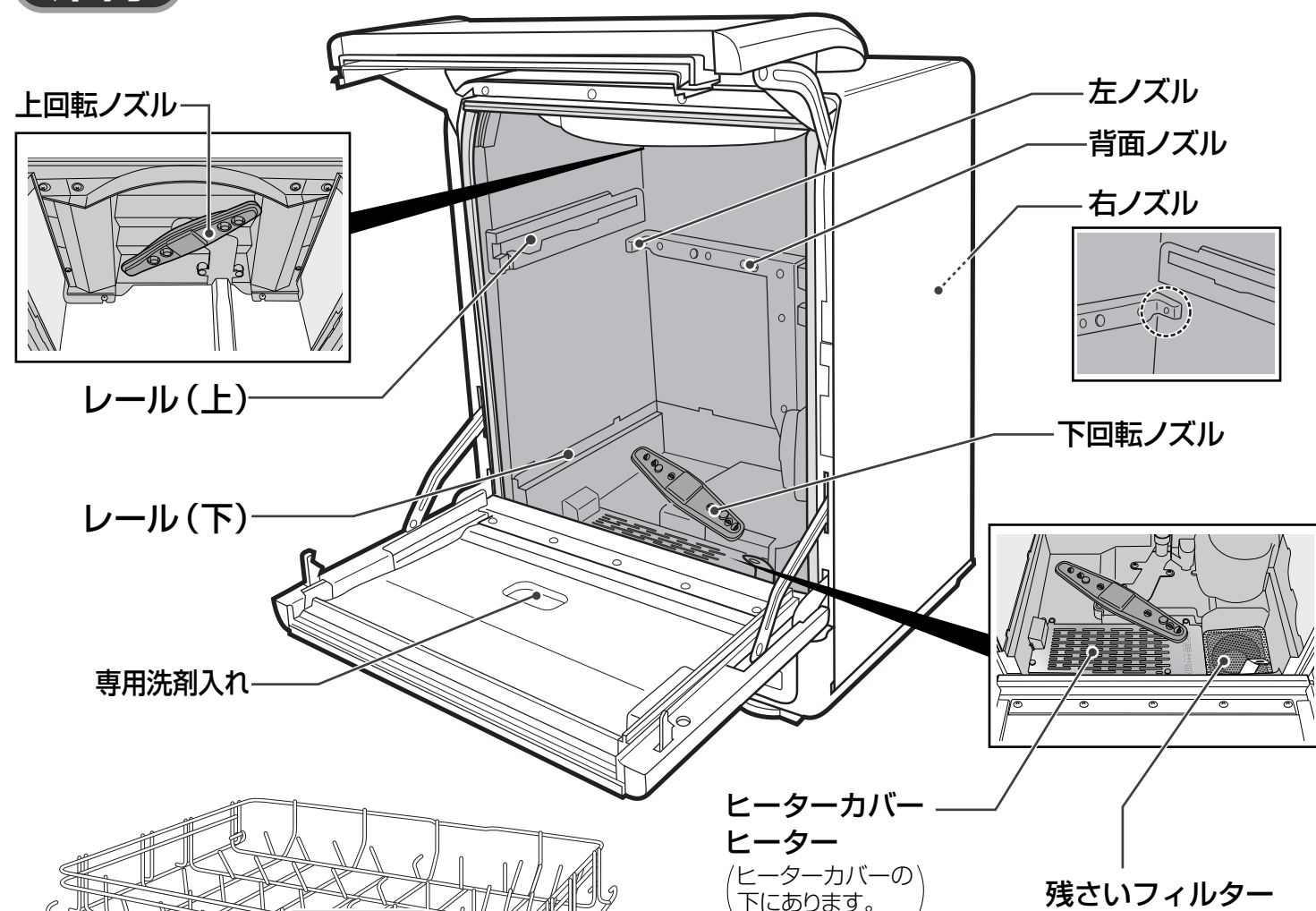
●電源コードは束ねて使用しないで
ください。
束ねてある電源コードは使用時に
はほどいてください。

付属品 次のものが入っています。確認してください。

専用洗剤 (パウダー100g) (タブレット10粒) (計量スプーンつき)	排水ホース (1.0m、1本) ホースバンド (26ページ参照)	ホースホルダー (1個) 給水ホースと排水ホースを束ねます。 (26ページ参照)	脚ゴムスペーサー (低タイプ、中タイプ、高タイプ各3個) 必要に応じて使用します。 (28ページ参照)
---	--	--	---

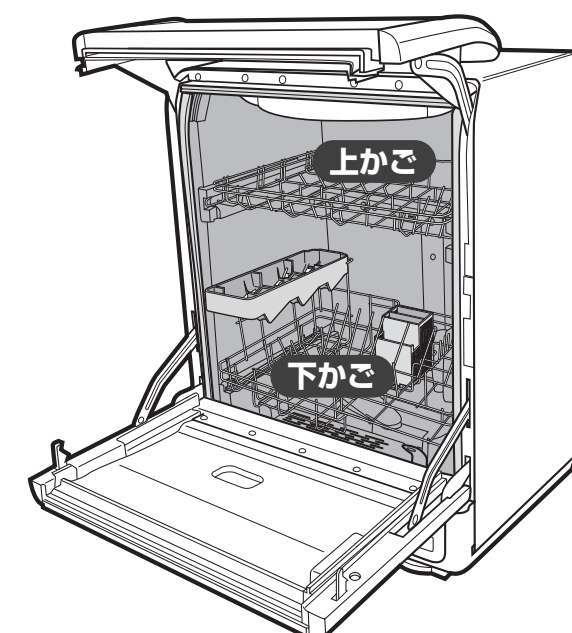
●この機種には「給水栓
つぎて」を同梱してい
ません。
水栓に給水ホースを
接続するときは、「分
岐水栓」または「給水
栓つぎて」が必要です。
(25ページ参照)

庫内



●箱から製品を取り出したとき、蒸気口周辺や庫内
に水が付着していることがあります。これは、水も
れ検査などを行っているためで、水分を十分ふき
取っていても製品内部などに残っている若干の水
分が表面に出てくる現象で支障ありません。

＜上かご、下かごをセットした状態＞



操作パネルのなまえとはたらき

「除菌」キー

- 「除菌」を選択するときに押します。(19ページ参照)
- もう一度押すと解除されます。
- 「標準」「スピーディー」「強力」「洗剤なし」コースで選択できます。
- 「予約(4時間後)」コースでは自動的に「除菌」を選択し、解除できません。

除菌ランプ

- 「除菌」を選択すると点灯します。

※試験機関: (財)日本食品分析センター
試験方法: 混釈平板培養法
除菌の方法: 加熱高温水洗浄方式
対象箇所: 洗浄水
試験結果: 99.9%

行程ランプ

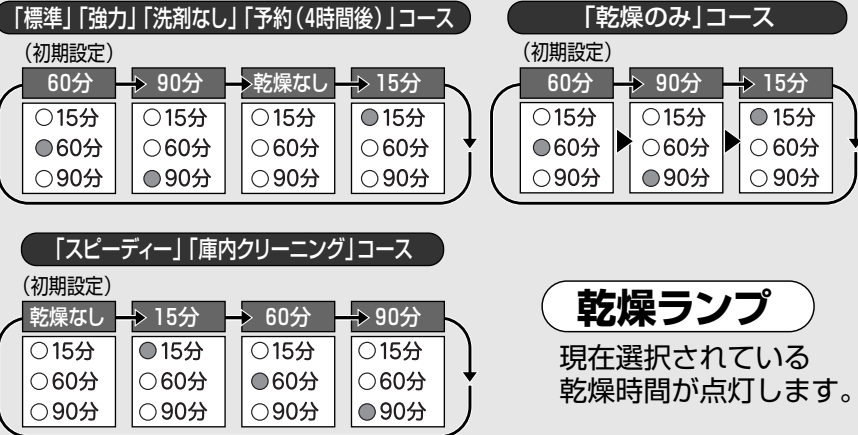
- 選択したコースの運転行程を表示します。
- スタートすると進行中の行程が点滅表示します。
終了した行程は消灯します。
- スタートするまでは行程ランプは消灯しています。

<例>すすぎ中のとき



「乾燥」キー

- 乾燥時間を選択するときに押します。(19ページ参照)
- キーを押すごとに設定が切りかわり、図のように乾燥ランプが移動します。



「庫内クリーニング」キー

- 庫内をお手入れするときに押します。(23ページ参照)

お手入れランプ

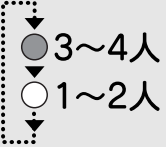
- 「庫内クリーニング」コースを選択すると点灯します。

「容量」キー

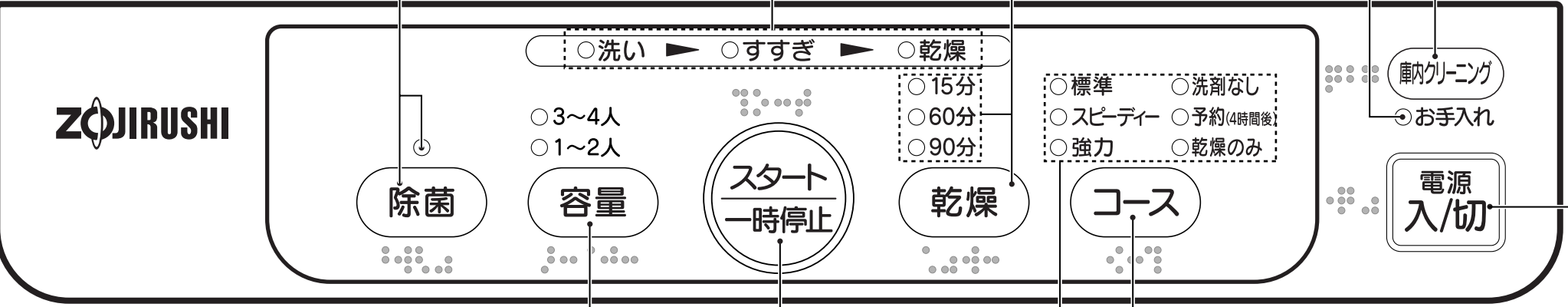
- 容量を選択するときに押します。(19ページ参照)
- 「標準」「強力」「洗剤なし」「予約(4時間後)」コースで選択できます。

容量ランプ

- 選択した容量のランプが点灯します。
- 「スピーディー」「乾燥のみ」「庫内クリーニング」コース時はランプは点灯しません。



●操作パネルの点字は、目の不自由な方に対して配慮しています。



終了ブザーを消すときは…

- ①差込みプラグをコンセントに差し込む
 - ②「乾燥」キーを4秒以上押す
 - ③ブザーが「ピーッ」と鳴り、設定終了
- 終了ブザーが鳴る設定に戻したいときは、上記の②の操作を再度行ってください。ブザーが「ピーッ×3回」と鳴ります。
 - 差込みプラグを抜いたり、停電があると終了ブザーが鳴る設定に戻ります。

「スタート/一時停止」キー

- 運転をスタートまたは、一時停止させるときに押します。
- 一時停止した後に再びスタートさせるときは、もう一度押します。
- 一時停止したまま放置していると、10分後から1分ごとにブザー(ピピッ×2回)が鳴り、60分後に自動的に「切」になります。

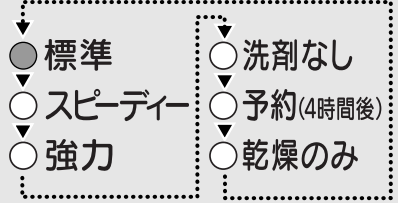
- ドアが確実に閉まっていないときに「スタート/一時停止」キーを押すとブザー(ピピッ×2回)が鳴り、スタートしません。

「コース」キー

- コースを選択するときに押します。(18ページ参照)
- 食器の汚れ具合、洗い方に応じてコースを選択します。
- キーを押すごとに図のようにコースランプが移動します。

コースランプ

- 現在選択されているコースが点灯します。



「電源入/切」キー

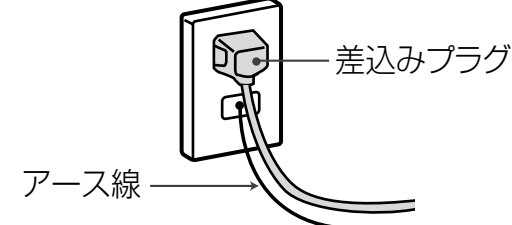
- 電源を入れるときに押します。
- 押すと「入」になり、もう一度押すと「切」になります。
- スタートせずに放置していると、10分後に自動的に「切」になります。
- 電源を入れた前回設定したコースのランプが点灯します。
(差込みプラグをコンセントから抜いたり、「庫内クリーニング」コースを選択すると、リセットされます。)

運転前の準備

●据えつけ方については、24ページ「据えつけ方」をご覧ください。

1 差込みプラグをコンセントに差し込む

- アース線も忘れずに取りつけてください。



2 分岐水栓の止水栓を全開にする

- 止水栓を全開にしないと、異常表示をすることがあります。

3 給湯接続の場合

①給湯機の運転スイッチを入れる

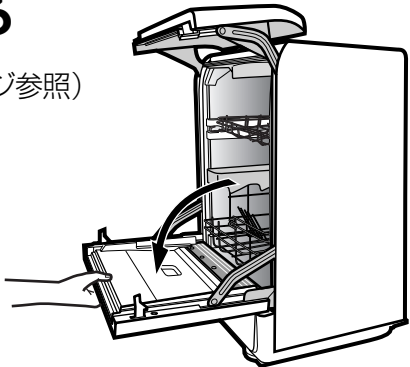
- 給湯機の運転スイッチを入れずに運転すると、水温が低いため、運転時間が長くなります。

②給湯温度を60℃に設定する

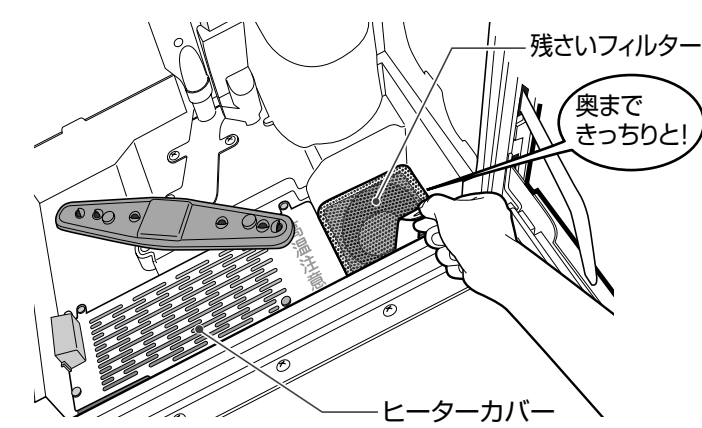
- 70℃以上の湯は使わないでください。故障の原因になります。
- 運転終了後は、給湯機の温度設定を元に戻してください。

4 開ボタンを押し、ドアを開ける

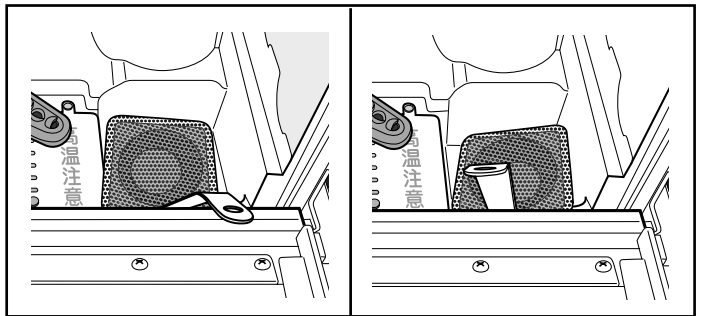
(10ページ参照)



5 残さいフィルターが正しくセットされているか確認する



悪いセットの例



6 食器の残さいを取り除く

残さいが多い場合や、汚れがきつい場合は、あらかじめつけ置き・水洗いをして取り除いてください。

- ・固いもの(ポンプの故障の原因)
つまようじ・魚の骨・輪ゴムなど
- ・細かい残さい(再付着の原因)
七味・ゴマ・ふりかけ
- ・魚の皮など(異臭の原因)
- ・油の固まりや油カスなどの
きつい汚れ(再付着の原因)

- ヒーターカバーの穴につまようじなど、ものを落とさないように注意してください。



7 食器を入れる

(12ページ「基本的な食器の入れ方」参照)

- 入れてはいけないものや、落ちない汚れがありますのでご注意ください。
(16ページ「入れてはいけないもの」参照)

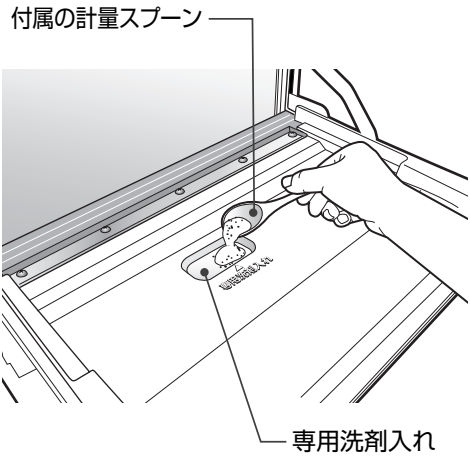
8 専用洗剤入りに専用洗剤を入れる

- 食器の量や汚れ具合で洗剤の量を加減してください。
- 油污れが多いときは多めに入れてください。
- 専用洗剤は、必ず運転を開始する前に入れてください。

- 食器洗い乾燥機専用洗剤「フィニッシュ」をおすすめします。(別売)

標準	容量「3~4人」を選択する場合	6g (付属の計量スプーン山盛り1杯分)	
	容量「1~2人」を選択する場合	3g (付属の計量スプーン7分目)	
スピーディー		3g (付属の計量スプーン7分目)	
・強力 ・予約(4時間後)	容量「3~4人」を選択する場合	9g (付属の計量スプーンすりきり2杯分)	
	容量「1~2人」を選択する場合	4.5g (付属の計量スプーンすりきり1杯分)	
洗剤なし	専用洗剤は必要ありません。		
乾燥のみ	専用洗剤は入れないでください。		

(18ページ「運転する」参照)



食器洗い乾燥機専用洗剤以外の洗剤は絶対に使用しない

一般の台所用洗剤を使用すると、泡が大量に発生し、ドア部や底部から流れ出します。また、故障の原因になります。万一、台所用洗剤を誤って使用された場合、使用を中止し、下記の処置を行ってください。

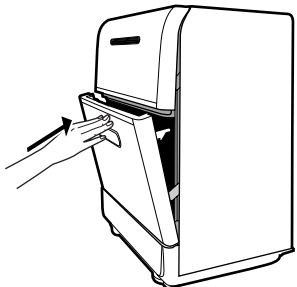
- 誤使用により故障した場合の修理は有料になる場合があります。

専用洗剤以外の洗剤を入れた場合の処置方法(泡かみの解消法)

- ①「電源入/切」キーを押し、電源を切る
- ② 半日程度放置する
●絶対にドアを開けて水をすぎ足すなどして庫内を洗わないでください。
- ③「電源入/切」キーを押し、電源を入れ、「標準」コースを選択する
- ④「スタート/一時停止」キーを押し、スタートする
- ⑤ スタートから3分程度経過したら、「電源入/切」キーを押し、電源を切る
- ⑥ ③~⑤を5回程度繰り返す

9 ドアを閉める (10ページ参照)

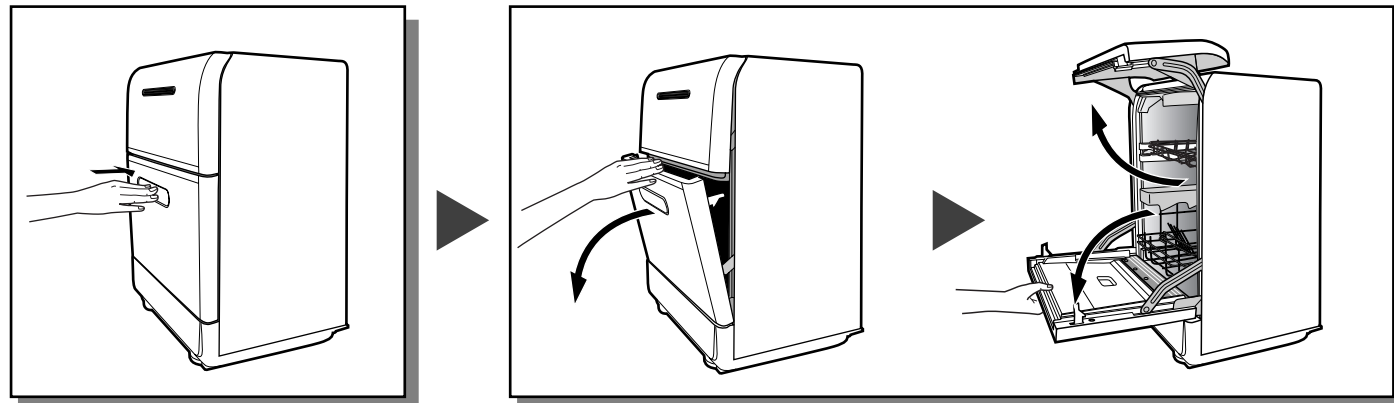
- ドアはゆっくり閉めてください。
(ドアが食器などに接触した場合に食器が破損する恐れがあります。)
- ドアに食器が当たる場合は、食器を入れ直してください。
- 「カチッ」と音がするまで確実に閉めてください。



ドアの開閉のしかた

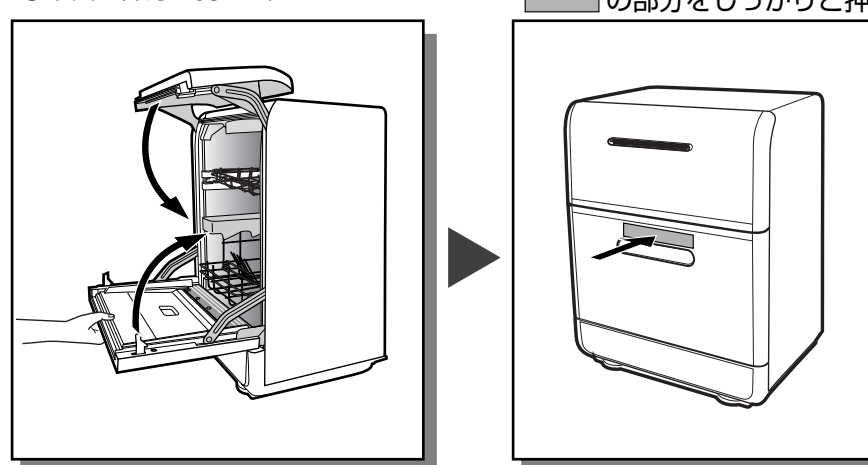
開け方

- ①開ボタンを押す(ドアが少し開きます。)
- ②下図の部分を持ち、下ドアが水平になるまで開く(上ドアが連動して上方に開きます。)



閉め方

- ①下図の部分を持ち、下ドアを上げる
- ②「カチッ」と音がするまで 〇の部分をしっかり押す



ご注意

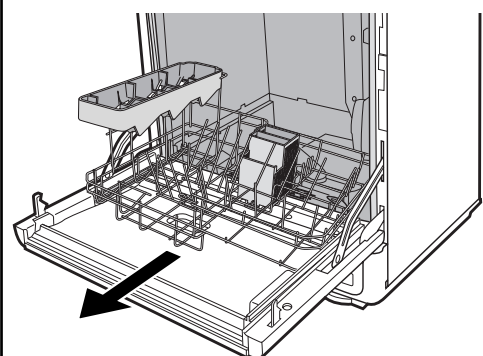
- ドアを開けるときは、顔を近づけないでください。上ドアがせり上がり、顔に当たる恐れがあります。
- ドアがしっかり閉まっていない状態で「スタート/一時停止」キーを押すと、プザー(ピピッ×2回)が鳴り、スタートしません。
- 下ドアの開ボタン上部を押して閉めてください。ドアの左右にロック機構があり、端を押して閉めた場合は、反対側が閉まっていない場合があります。
- 指のはさみ込みに注意してください。
- かごを引き出した状態でドアを閉めないでください。
- 上ドアを持って開閉しないでください。

かごの取りはずし方

- かごの取りはずし、取り付けは、食器をすべて取り出してから行ってください。
- 取り付けは取りはずし方の逆の手順で行ってください。

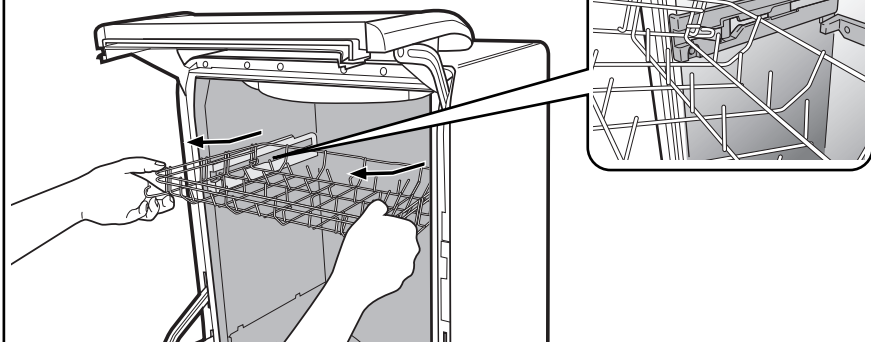
下かごの取りはずし方

下かごを引き出し取り出す



上かごの取りはずし方

- ①上かごを水平にして引き出す
- ②持ち上げながら手前に引き出す

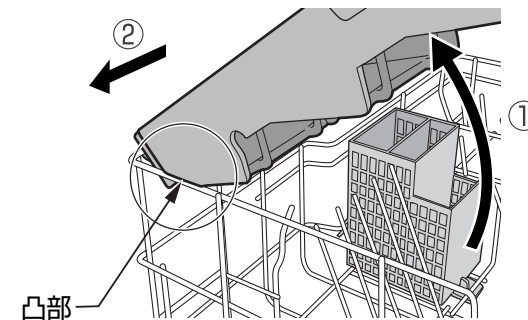


コップかご・小物入れの着脱方法

コップかご

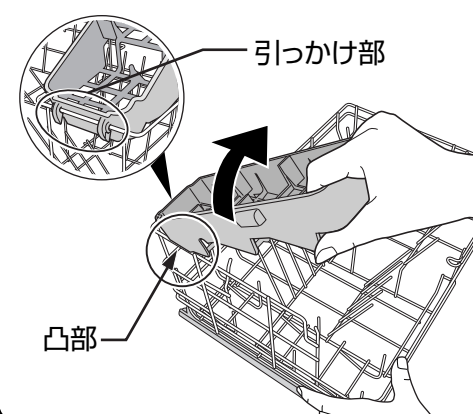
■起こし方

- ①コップかごを上を持ち上げる
 - ②横にスライドさせ、コップかごの底の凸部をワイヤーの上にのせる
- コップかごを起こすと、固定されて下かごに湯のみなどを入れやすくなります。



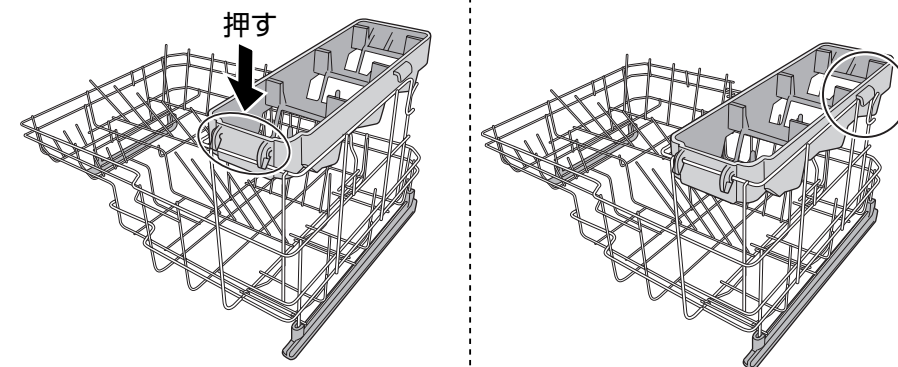
■はずし方

コップかごを起こした後、コップかごの底の凸部をワイヤーにのせたまま矢印の方向にねじるようにして、後方の引っ掛け部を下かごからはずす



■つけ方

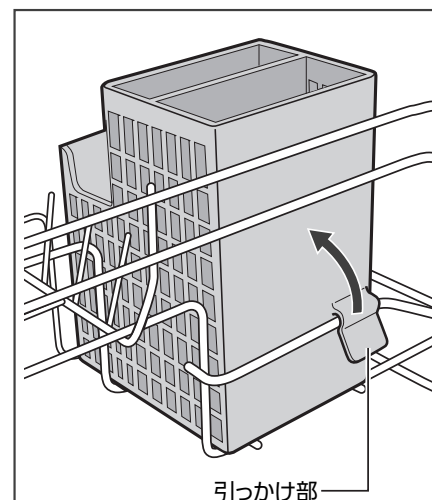
- ①コップかご後方の引っ掛け部を押して下かごにはめる
- ②コップかご左の引っ掛け部をワイヤーに引っ掛ける



小物入れ

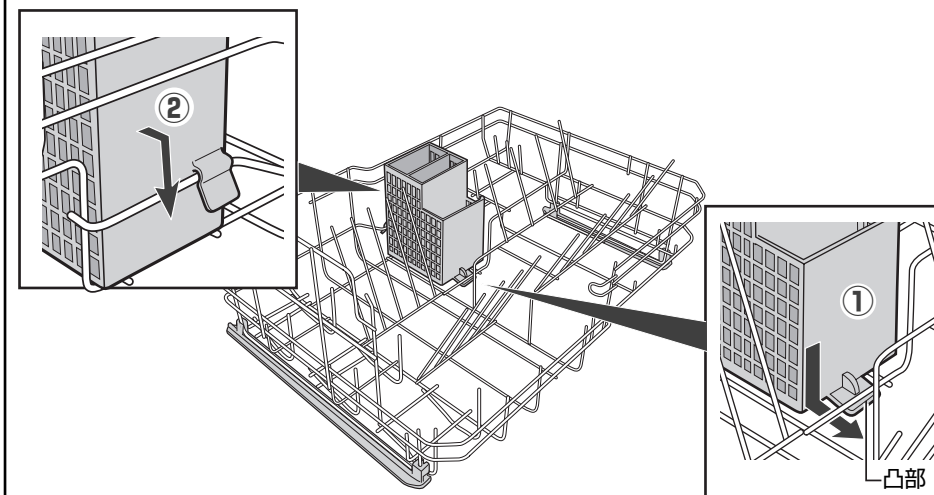
■はずし方

小物入れ後方の引っ掛け部を下かごからはずす



■つけ方

- ①小物入れ前方の凸部を下かごに差し込む
- ②小物入れ後方の引っ掛け部を下かごにはめる



基本的な食器の入れ方

※標準容量4人分（食器点数34点）の入れ方を例にして基本的な食器の入れ方を説明します。

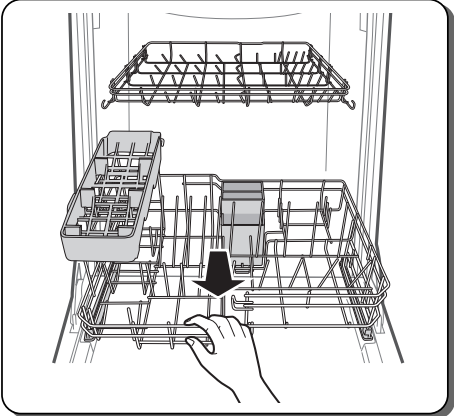
※（社）日本電機工業会新基準による

- 食器の汚れた面を矢印の方向に向けて入れてください。
食器の向きが違くと洗い上がりが悪くなります。
- 食器の大きさ、形状によって、所定の場所に入らないことがあります。

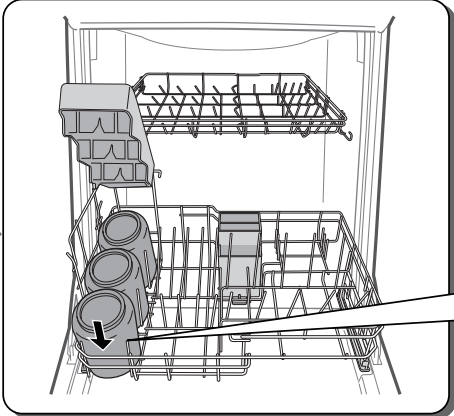
大 皿	直径24cm以下、高さ2.5cm以下	4 点
中 鉢	直径17cm以下、高さ5cm以下	4 点
小 皿	直径12cm以下、高さ2cm以下	8 点
小 鉢	直径12cm以下、高さ4.5cm以下	4 点
茶 わ ん	直径12cm以下、高さ5.5cm以下	4 点
汁 わ ん	直径12cm以下、高さ5.5cm以下	4 点
湯 の み	直径6.5cm以下、高さ11cm以下	3 点
コ ッ プ	直径6.5cm以下、高さ11cm以下	3 点
は し	22cm以下	4人分
フォーク	18cm以下	4人分
スプーン	18cm以下	4人分

1.下かごに入れる

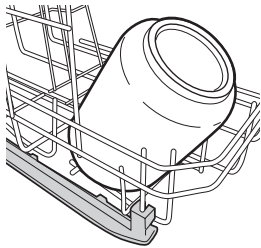
①下かごを止まるまで引き出す



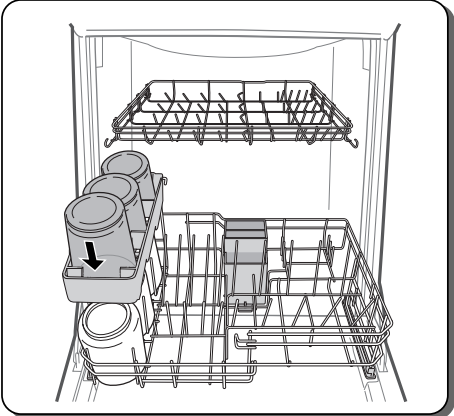
②湯のみを入れる



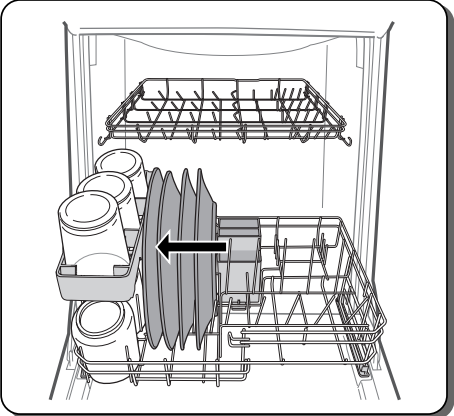
- 湯のみを入れるときは、下図のように傾けて入れてください。（糸じりに水が溜まりにくくする為）



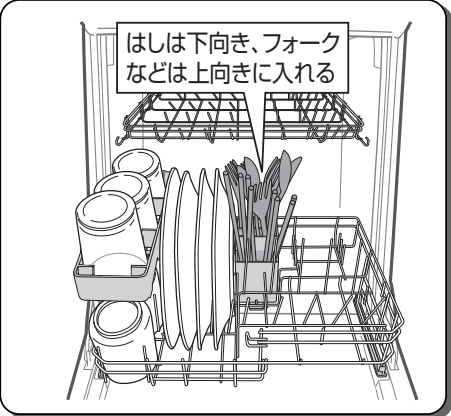
③コップかごにコップを入れる



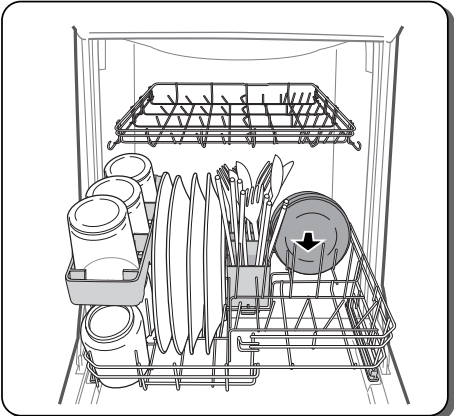
④大皿を入れる



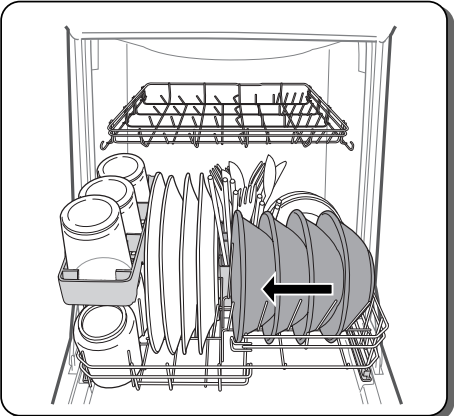
⑤小物を入れる



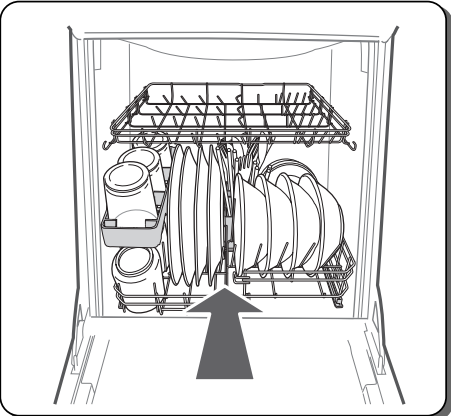
⑥小皿2点を入れる



⑦中鉢を入れる

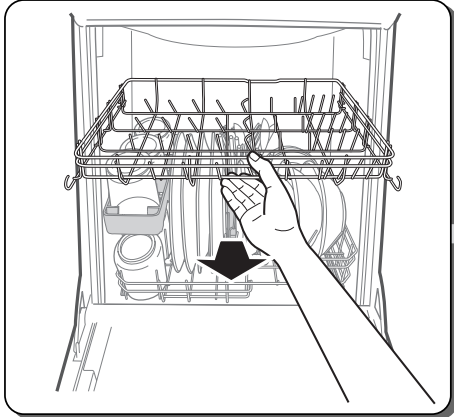


⑧下かごを庫内に押し込む

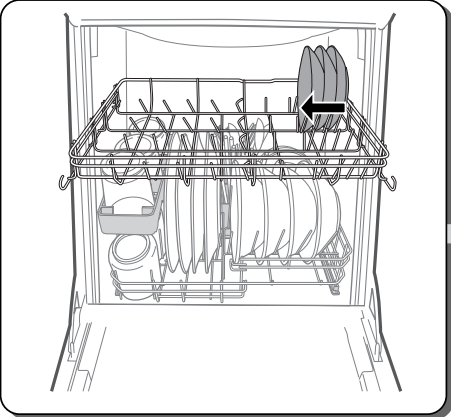


2.上かごに入れる

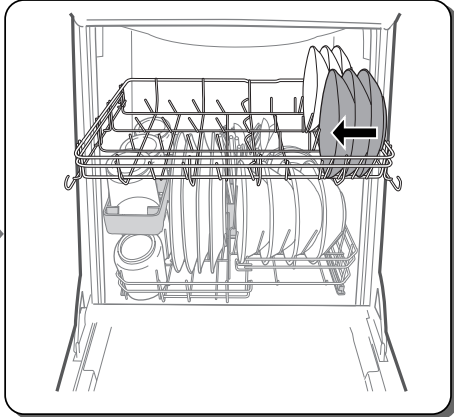
①上かごを止まるまで引き出す



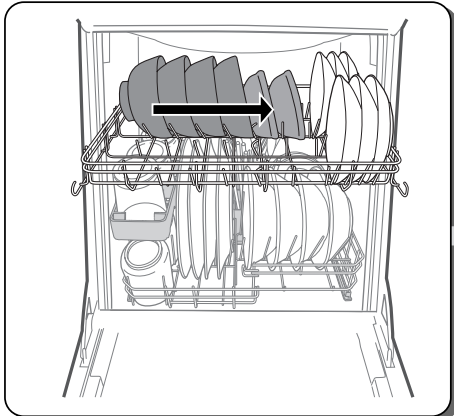
②右奥に小皿3点を入れる



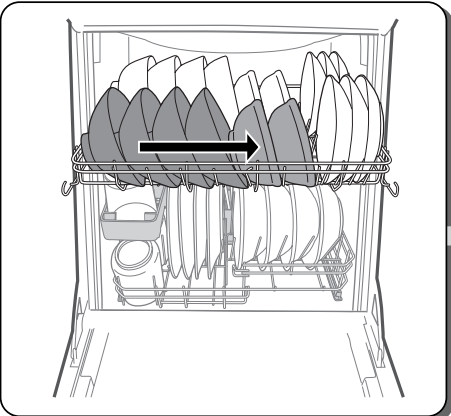
③右手前に小皿3点を入れる



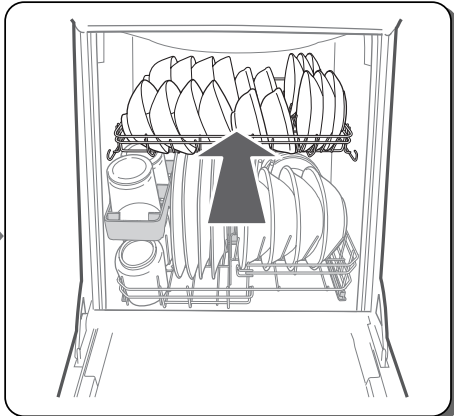
④左奥に汁わんを入れ、小鉢2点を入れる



⑤左手前に茶わんを入れ、小鉢2点を入れる



⑥上かごを庫内に押し込む

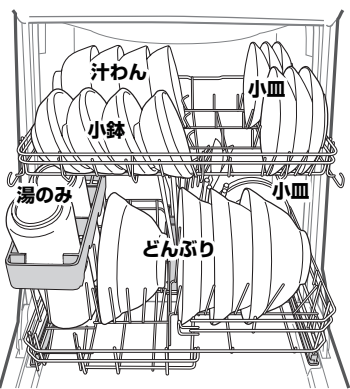


- 汁わん・茶わんは、上ノズルからの水がかかるように食器の上部が重ならないように立ててください。

- ★汚れのきつい食器は、下かごに入れる
- ★湯のみなど糸じりに水がたまりやすい食器はできるだけ傾けて入れる
- ★はしは下向きに入れる
- ★フォークなどは上向きに入れる
- ★湯のみ（コップ）は下向きに伏せる
- ★食器の数が少ないときは、間をあける

いろいろな食器の入れ方

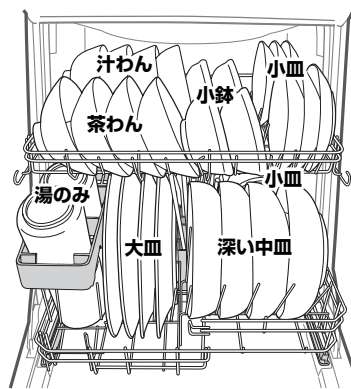
■どんぶり 直径15.5cm以下 高さ7cm以下



- 食器点数
- どんぶり……4点
 - 汁わん……4点
 - 小鉢……4点
 - 小皿……8点
 - 湯のみ……4点
 - 小物……4人分

合計24点

■深い中皿 直径17cm以下 高さ5cm以下

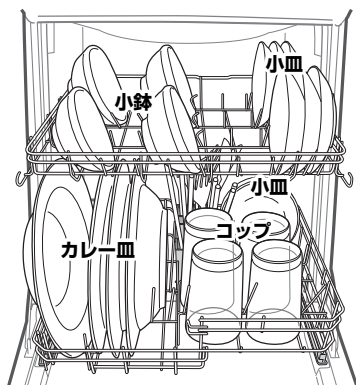


- 食器点数
- 深い中皿……4点
 - 茶わん……4点
 - 汁わん……4点
 - 小鉢……4点
 - 大皿……4点
 - 小皿……8点
 - 湯のみ……4点
 - 小物……4人分

合計32点

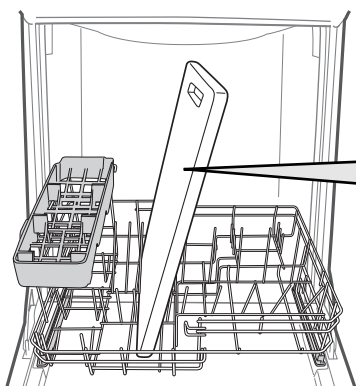
いろいろな食器の入れ方 つづき

■カレー皿 直径23cm以下 高さ3.5cm以下



食器点数
 カレー皿……4点
 小鉢……4点
 小皿……8点
 コップ……4点
 小物……4人分
 合計20点

■まな板



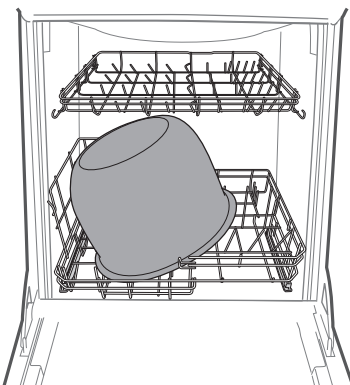
●上かごと小物入れをはずし、立てて入れてください。

大きさ：縦21cm以下
 横36cm以下
 厚み1.5cm以下
 材質：耐熱温度90℃以上のプラスチック製
 (90℃以下のものは、変形の恐れがあります。)

- 汚れた面を内側に向けてください。
- 木製のまな板は、表面の傷に入り込んだ汚れが洗えない場合があるため、プラスチック製のものをおすすめします。

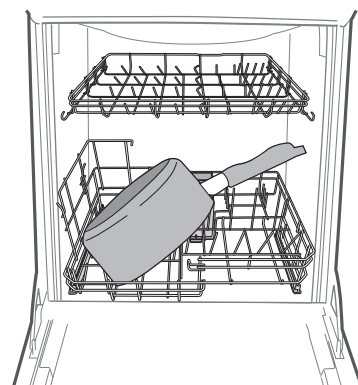
●次のものはコップかごをはずし、内面を下向きにして入れてください。

■炊飯ジャーの内なべ



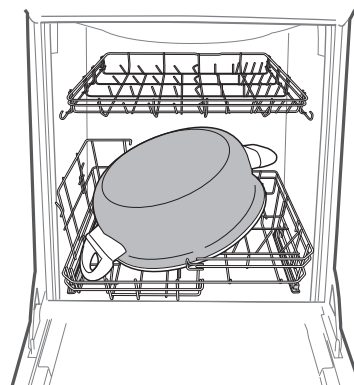
- アルミ製の内なべは入れないでください。(変色します。)
- 洗米可能な内なべに限ります。

■フライパン・片手なべ



フライパンの大きさ：直径24cm以下
 片手なべの大きさ：直径24cm以下
 高さ10cm以下

■両手なべ



両手なべの大きさ：直径26cm以下
 高さ10cm以下

- とっ手の形状によっては、入らない場合があります。
- フッ素樹脂加工を施したもので表面に傷やはがれのあるものは入れないでください。(コーティングがはがれる恐れがあります。)

悪い入れ方

正しくセットされていないと、ドアが開かなくなったり、本体・食器の破損や変形、洗い上がりが悪いなどの原因になります。

手前の壁の下端より上にはみ出さない
 (上回転ノズルの回転を止め、洗えません。)

上かごに入れたときに、伏せ気味になる茶わん、汁わん、小鉢は洗い上がりが悪くなる場合があります。

コップ類は上かごに入れない
 (洗えません。)

上かごに入れる食器は下向きや上向きにしない
 (洗えません。)

はしは、汚れた方を上にしない
 (きれいに洗えません。)

食器は重ねない
 (洗えません。)

背面ノズルの口を食器や調理器具などでふさがない
 (上かごのものが洗えません。)

コップ類は上向きや横向きにしない
 (洗えません。)

入れる向きを正しい向きと逆にしない
 (きれいに洗えません。)

スプーンやフォークなどは重ねない、詰め込まない
 (きれいに洗えません。)

●スプーンを伏せ気味にセットした場合、仕上がりが悪くなる場合があります。

かごの下にはみ出さない
 (下回転ノズルの回転を止め、洗えません。)

かごの手前にはみ出さない
 (蒸気や水もれの原因)(ドアが開かない原因)
 (本体・食器類の破損・変形)